



知事が行く!  
突撃取材! Part2  
～三重のひと～

第9回

～伊勢志摩に魅せられて～

## 三重を世界に発信する インバウンドリーダー

### インタビュー詳細版

(聞き手)

三重県知事 鈴木 英敬

(お話いただいた方)

鳥羽シーサイドホテル

国際担当 リ 李 相海さん



リ 李 相海さん

**知事:** 李さんは、鳥羽シーサイドホテルで、インバウンドの集客業務をされていますが、5月に開催された伊勢志摩サミットを契機として、お客様の宿泊状況や問い合わせなどに変化はありましたか。

**李:** 伊勢志摩サミット開催が決まった時には、知り合いの旅行会社の担当者に「おめでとうございます」と言われました。去年の冬ぐらいからは、「開催地を訪れたい」「新しい観光地を見つけたい」「知名度の高い場所にお客様を連れていきたい」といった要望を持つ旅行会社からの問い合わせが増えました。伊勢志摩サミットは、この地域の歴史的な出来事になったと思います。このサミットが起こしたうねりは、その中心である三重から国内、海外へ広がり、今年は国内で、2年目の来年には海外からも足を運ぶ人が増えてくると思います。

**知事:** なるほど。今後の状況は、いかがですか。

**李:** おかげさまで、当ホテルも秋口から団体を含めて好調に予約が増えており、伊勢志摩サミットのおかげだと思っています。インバウンドも、10月、11月、ともに例年以上に問い合わせが来ています。

**知事:** そうですか。素晴らしいですね。サミットの後、三重県全体の宿泊者数は国内旅行を中心に伸びています。もちろん海外の方も増えています。非常にいい効果が出ていると思います。9月に



ホームページ「日本紀行」や、これまで出版された写真集「伊勢志摩の自然と祭礼」、フォトエッセー「現代の海女」について説明していただきました。

サミットの経済効果を発表しましたが、パブリシティ効果という広告換算の計算をしたところ、サミット決定からサミット開催後1カ月まで、例えば中国・香港・台湾のウェブニュースでは2万件以上が取り扱われ、約340億円の効果があったというデータが出ました。かなりの情報が世界に流れたのだと思います。これからさらに情報を発信していくことが大事になってきますね。



李さんが各地で撮影した写真を見せていただきました。

**李** : そうですね。頑張りたいと思います。

**知事** : 国内外のお客様に三重の魅力を知らってもらうために、李さん自身が心がけていることなどありますか。

**李** : 伊勢志摩サミットの知名度は広がり、インターネットで伊勢志摩を検索するとサミットの文字が出るようになりました。私が当ホテルに勤め始めた時は、ほとんど伊勢志摩のことは知られていませんでした。旅行会社の人も知りませんでした。私自身も知らなかったので、まずは休日に伊勢神宮や夫婦岩、英虞湾などに出かけ、素晴らしい風景や独特の文化に触れました。伊勢神宮の宇治橋の鳥居から昇る日の出など、何回も写真に撮って、実際に自分で見るようにしました。旅行担当者と話をする時には、夏は夫婦岩の二つの岩の間から昇ってくる日の出がとても美しいことや、冬は月が見えるといったさまざまな説明をします。三重には海女さんの文化や真珠もあります。こうした説明をする、その延長線上で、休みの日は自分で取材して撮影し、発信することがやりがいになっています。それを見て観光に来ていただける人が増えれば、ホテルとしても地域としても、いいことかなと思っています。

**知事** : まずは自分で伊勢志摩の魅力を体感し、地域の深いところまで知ろうという努力をされているのですね。

**李** : そうですね。いろいろ知りたくなりますね。

**知事** : そのように伊勢志摩を発信していただいています。李さんにとって伊勢志摩を一言で表現すると何でしょうか。

**李** : 伊勢志摩は自然と伝統・文化が調和した場所ですね。人だけでなく、さまざまな生き物が調和し、神社仏閣が点在する聖地であり、日本人の心のふるさとという印象です。心、精神文化のある場所だと思います。

**知事** : 李さんが言われる通りだと思います。しかし、伊勢神宮、伊勢志摩をはじめ、日本の伝統文化は、海外の一部の人には理解しにくいのではないかという意見もあります。そういう点では、どのように感じられますか。



ホームページ「日本紀行」(日本語版)

[日本紀行 李相海](#) [Q検索](#)

李：古来からの信仰や物の見方、文化、習慣の違いがあって、なかなか理解しづらいことはありますね。<sup>やおよろず</sup>八百万の神などは自然の中に神々が存在するという考え方で、動物に人間の感情を入れたり、日本の古来の考え方は非常に分かりにくいんです。また、日本の文化について深いところまで探ると、人に対する畏敬の念、思いやりの心、尊敬の心が根底にあることが分かります。また、そんな見えない存在を感じ、人知を越えた存在が伊勢志摩の原点になっていると思います。



夏至の夫婦岩

李さんが撮影した一番お気に入りの写真。地元のカメラマンでも5年に1度しか見られない景色だそうです。夫婦岩の間から富士山と日の出が見えます。

知事：最後に李さんのこれからの夢をお聞かせいただけますか。

李：私は観光業、旅館業に従事していますので、日本のおもてなし、旅館文化を伝えていきたいと考えています。また、その延長線上で日本の文化・伝統をもっと紹介して、日本と中国、日本と海外の懸け橋になりたいと考えています。そのために、これからも勉強を続けていきたいと思っています。

知事：素晴らしいですね。伊勢志摩サミットを受け、伊勢志摩国立公園をナショナルパーク化していくという話もあります。海外の皆さんに、たくさん来ていただきたいと思いますので、ぜひ懸け橋になってくださいね。

李：ありがとうございます。

知事：よろしくお願いします。



※インタビューの内容は、読みやすさの観点から一部要約等を行っています。

※記載内容、写真の無断転載を禁じます。

※内容に関するご意見・お問い合わせは、三重県戦略企画部広聴広報課まで

〒514-8570 三重県津市広明町13

☎ 059・224・2788 FAX 059・224・2032

E-mail koho@pref.mie.jp